

# 平成 2 7 年 度 事 業 報 告

## 平成 27 年度事業概況

昨年は、ギリシャ金融危機をはじめ、欧州への難民の流入や中国経済の減速懸念等が世界の経済・社会に大きな影響を与えた。また、自動車の排出ガス規制不正等、企業のコンプライアンスが大きく問われる問題も発生した。

国内経済においては、アベノミクス「第2ステージ」として新たな3本の矢が発表されたほか、TPPの大筋合意により、アジア太平洋地域にまたがる巨大経済圏誕生の道筋がつけられた。

一方、印刷産業界では、景気回復をいまだ顕著に実感できていないのが現状である。しかしながら、加速度的に減少してきた印刷市場は微減にとどまりを見せ、「下げ止まり」との観測も出てきている。

昨年、日本印刷産業連合会は、設立30周年として、連合会史「日印産連30年の歩み」並びに「印刷用語集」のWeb発行、印刷文化典や国際印刷フォーラム開催等全て順調に終了した。

当連合会では、印刷業界の未来を見据えて策定した「グランドデザイン」の実行元年に入った。初年度は、グランドデザインの目的に応じて組織を見直し、5常設委員会11部会の体制に再編した。

常設委員会である「ステアリング・コミッティ（運営委員会）」「価値創出委員会」「企業行動委員会」「地球環境委員会」「広報委員会」は、「グランドデザイン」を実行に移すべく、部会を中心に精力的活動を開始した。また、新たに設けた「顕彰委員会」は日印産連の表彰を統括する委員会として初年度より新機軸を打ち出した。

### 1. 事業の見直し／事業目的

グランドデザインの概念に沿い、印刷産業の社会的責任を遂行に資する活動に集中した。

- ・ 印刷産業の価値創造に資する活動（情報提供）を行った。
- ・ 社会規範やルールに則って活動し、顧客社会からの高い信頼を得られる産業となるための活動を行った。
- ・ 印刷産業の果たしている役割などをわかりやすく多様なステークホルダーに対して説明を行い、対外広報活動を強化するとともに、印刷産業と社会との接点拡大を展開し、印刷産業への共感醸成を図った。

### 2. 運営組織・体制の再編成

グランドデザインの目的に沿った組織体制、明確な指針（ミッションステートメント）で行動する組織体制に再編した。

#### (1) 事業運営体制は、3区分を基本とした。

- ・ 常設委員会を5常設委員会に再編。
- ・ 日印産連としての表彰を司る顕彰委員会を設けた。
- ・ 顕彰の客観性と信頼性の継続を目的に独立した委員会とした。
- ・ 審査・認定事業の継続。  
審査認定事業の独立性と事業効果の発揮を通じて、印刷産業の継続的な基盤強化をより一層促進した。

#### (2) 委員会等の区分と業務分掌の明確化

- ・ 常設委員会＝所轄するテーマに対する大きな意思決定を行った。
- ・ 部会／ワーキンググループ＝委員会の委嘱を受け、プラン策定と実行を行った。

また、数年来の継続事業である「労働安全衛生の推進」「環境政策の推進」「経営課題への取組み」「変化への対応」については、「グランドデザイン」の考え方に基づいて、それぞれの委員会、部会、WG等で積極的に推進した。

## I. 事業活動

### I 常設委員会活動(業界基盤整備事業) / 顕彰委員会

業界基盤の整備および体質強化を図るための常設委員会活動は5委員会を編成。各委員会はそれぞれの事業計画に基づいて委員会活動を展開した。

また顕彰委員会では印刷産業の活性化につながる顕彰制度を目指して活動を行った。

#### 1 ステアリング・コミッティ (運営委員会)

##### 【1】概要

本年度は事業計画の礎となる「グランドデザイン」の実行元年として、体制も新たに活動を開始した。また設立30周年としては、年史「日産連30年の歩み」や「印刷用語集Web版」の発行および「国際印刷フォーラム」の開催、「GP環境大賞表彰」の実施などの事業を、9月開催の印刷文化典に合わせて行なった。

行政対応については、経済産業省からの「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドラインの改訂版」への対応や「夏季の省エネルギー対策について」などの連絡事項の伝達、あるいは平成28年1月から施行された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」や「平成27年度補正予算事業説明会」「夏の生活スタイル変革(ゆう活)」等に対して、会員10団体事務局を通じて、その周知に努めた。また内閣府からの「新規大学卒業予定者等の就職・採用活動開始時期について(要請)」についても同様に周知を図った。なお、「夏の生活スタイル変革」については2か月間(7/1~8/末)の時差出勤を日産連として実施した。

委員会においては、「事業報告・決算報告案」「事業計画・収支予算案」、日産連表彰・印刷環境優良工場表彰などの表彰案、印刷文化典・新年交歓会・次年度の主要行事日程などの主要行事案が議案となり、内容が検討された。また新たな活動に向けた動きとしては、「ジャパンダイバーシティネットワーク入会(女性活躍推進部会)」「JFPI社会責任報告書の発行(広報・企画部会)」「日産連の情報システム化要件(技術部会)」などが報告事項として取り上げられた。

委員会名	開催回数	実施内容
ステアリング・コミッティ (運営委員会)	5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>*事業報告ならびに決算報告案</li> <li>*事業計画ならびに予算収支案</li> <li>*日産連表彰案・印刷産業環境優良工場表彰案</li> <li>*2015年印刷文化典/2016年新年交歓会</li> <li>*グランドデザイン活動の進捗状況</li> <li>*GP環境大賞の創設/JFPI社会責任報告書の発行</li> </ul>
① 10団体専務理事連絡会	5回	

《本委員会開催日》

第1回	平成27年 5月 13日(水)	於：日本印刷会館会議室 201号
第2回	平成27年 8月 6日(木)	於：日本印刷会館会議室 201号
第3回	平成27年 10月 21日(水)	於：日本印刷会館会議室 201号
第4回	平成27年 12月 15日(火)	於：日本印刷会館会議室 201号
第5回	平成28年 3月 15日(火)	於：日本印刷会館会議室 201号

## 【2】委員名簿

ステアリング・コミッティ(運営委員会) (計14名)

(敬称略、◎は委員長)

連合会役職	所属団体		氏名	会社名
	団体名	役職		
◎副会長	印刷工業会	副会長	浅野 健	(株)金羊社
常任理事	印刷工業会	副会長	堆 誠一郎	宝印刷(株)
副会長	全印工連	会長	島村 博之	六三印刷(株)
常任理事	全印工連	副会長	臼田 真人	(株)アドピア
常任理事	全印工連	専務理事	生井 義三	全印工連
副会長	フォーム工連	会長	櫻井 醜	トッパン・フォームズ(株)
常任理事	ジャグラ	会長	吉岡 新	共立速記印刷(株)
常任理事	全日本製本	会長	大野 亮裕	(有)協和製本
常任理事	G C J	会長	田村 壽孝	(株)東京ニュース
常任理事	全日本シール	会長	田中 浩一	(株)田中シール印刷
常任理事	全国グラビア	会長	田口 薫	大日本パッケージ(株)
常任理事	全日本スクリーン	会長	吉見 正彦	マルワ工業(株)
常任理事	全日本光沢	会長	小原 隆	(株)大和紙工業
価値創出委員会委員長			(臼田 真人)	
企業行動委員会 //			(堆 誠一郎)	
地球環境委員会 //			(田口 薫)	
広報委員会 //	印刷工業会	理事	岩岡 正哲	岩岡印刷工業(株)
顕彰委員会 //			(浅野 健)	

## 【3】主な実施内容

ステアリング・コミッティ (運営委員会) における「議案」および「報告事項」

### □ 第1回

\*経済産業省からの説明 <高橋課長補佐 檜原係長>

「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」<平成27年3月改訂>

\*新常設委員長挨拶 <浅野委員長・臼田委員長・堆委員長・田口委員長・岩岡委員長>

1. 平成26年度 事業報告<概要>並びに決算報告(案)に関する件
2. 平成27年度 日印産連表彰の推薦に関する件
3. GP環境大賞表彰の実施に関する件
4. 報告事項
  - (1) 第14回印刷産業環境優良工場表彰の応募/選考状況について
  - (2) (一社) ジャパンダイバーシティネットワーク入会の件
  - (3) マイナンバー概要説明会の開催(大阪会場)について
  - (4) 経済産業省「夏の生活スタイル変革」に関する要請について
  - (5) 平成27年4月/都道府県別会員企業数一覧

□ 第2回

＊新メンバーのご紹介 <G C J 田村会長・全日本シール田中会長・スクリーン吉見会長>

1. 日印産連表彰の件
2. 印刷産業環境優良工場表彰の件
3. G P環境大賞の件
4. 設立 30 周年記念式典 2015 年印刷文化典について
5. 報告事項
  - (1) 「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」講習会の開催について
  - (2) 「印刷用語集」の Web 公開について
  - (3) 経産省人事異動について

□ 第3回

1. 日印産連グランドデザイン活動状況の件
2. 2015 年印刷文化典 開催結果の件
3. 平成 28 年度日印産連主要行事日程(案)の件
4. 2016 年新年交歓会(案)の件
5. その他
  - (1) (学) 日本プリンティングアカデミーでの特別講義について
  - (2) 国際印刷フォーラムの開催結果について
  - (3) 一般社団法人への移行手続きの完了について
  - (4) VOC 警報器の発売について

□ 第4回

1. グリーンプリンティング資機材認定規程(案)の件
2. 報告事項
  - (1) 第 15 回印刷産業環境優良工場表彰 実施要領について
  - (2) 印刷業における環境自主行動計画の状況について
  - (3) エコプロ 2015 出展について
  - (4) VOC 警報器の販売フローについて
  - (5) 市場動向調査部会主催 2016 シンポジウム企画案について
  - (6) マイナンバー取扱ハンドブックおよび関連セミナーについて
  - (7) 平成 27 年度日印産連主要行事日程(確定)
  - (8) 「2016 新年交歓会」開催の概況(確定)
  - (9) 白熱灯・蛍光灯の製造禁止方針について

□ 第5回 (稲木会長出席)

1. 平成 28 年度事業計画ならびに収支予算(案)の件
2. 【日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準】改訂(案)の件
3. 報告事項
  - (1) J F P I 社会責任報告書(仮題)発行について
  - (2) 第 1 回女性活躍推進セミナーの開催について
  - (3) VOC 警報器の販促状況について
  - (4) 日印産連の情報システム化要件について
  - (5) 蛍光灯製造に関するマスコミ報道について
  - (6) G P環境大賞およびG Pマーク普及貢献工場表彰について
  - (7) ステコミ年間予定

## 2 価値創出委員会

### 【1】概要

印刷産業の価値創造に資する情報収集・情報提供・発信・共有・教育・研修等を促進することを目標に活動した。

- ・市場動向や最新技術動向の情報収集と情報発信
- ・知的財産権の調査・分析・研究と情報発信および啓蒙活動の推進
- ・事業領域の拡大をめざした新事業の調査研究、企画提案活動の推進
- ・グローバル市場へ向けた戦略の提言、海外展開事例研究

委員会名(部会、WG)	開催回数	実施内容
価値創出委員会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 価値創造に資する事業ニーズの調査研究</li> <li>* 行政事業連携案件等、企画提案活動の推進</li> <li>* 新市場に向けた固有技術の調査研究</li> </ul>
① 市場動向調査部会	2回	・印刷関連市場調査分析と市場拡大に向けた提言
② 知的財産部会	10回	・知的財産権問題の周知啓発活動の実施
③ 技術部会	2回	・情報化および高度化技術の調査研究
④ デジタルプレス推進協議会	3回	・デジタルプレス動向調査実施、報告会の開催
⑤ 印刷技術標準化WG	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪審査委員会活動</li> <li>技能五輪サンパウロ国際大会参加</li> <li>・印刷用語集、web版用語集の編集制作・周知活動</li> </ul>
* 価値創出WG (準備委員会)	1回	
* 情報化PJWG (準備委員会)	1回	

《本委員会開催日》

第1回 平成27年 7月13日(月)

於：日本印刷産業連合会 会議室

第2回 平成28年 2月16日(火)

於：日本印刷産業連合会 会議室

### 【2】委員名簿

価値創出委員会 (計14名)

(敬称略、◎は委員長、○は部会長)

連合会役職	所属団体		氏名	会社名
	団体名	役職名		
◎常任理事	全印工連	副会長	白田 真人	(株)アドピア
常任理事	印刷工業会	専務理事	小野 隆弘	印刷工業会
	全印工連	常務理事	瀬田 章弘	弘和印刷(株)
	フォーム工連	常任理事	石井 啓太	共同印刷(株)
	ジャグラ	専務理事	沖 敬三	勝美印刷(株)
	全日本製本	理事	本間 敏弘	本間製本(株)
	G C J	副会長	中田 辰悟	(株)一真社

	全日本シール	常務理事	山下 庫太	(有)啓祐社
	全国グラビア	理 事	赤穂 昌之	(株)日商グラビア
	全日本スクリーン	副 会 長	佐竹 博志	(株)アイ・エス・アイ
	全日本光沢	副 会 長	荻野 隆	太成二葉産業(株)
○理事/市場動向調査部会長	印刷工業会	理 事	花崎 博己	大東印刷工芸(株)
○知的財産部会長	印刷工業会		萩原 恒昭	凸版印刷(株)
○理事/技術部会長	印刷工業会	理 事	服部 克彦	瀬味証券印刷(株)

### 【3】主な実施内容

#### 〔1〕調査研究に向けた検討<価値創造に資する事業ニーズの調査研究>

- ・キーファクターの整理 各団体の知見・ノウハウの検討
- ・印刷業界の情報ネットワーク化の検討

#### 〔2〕市場動向調査部会

印刷産業に関するデータおよび関連資機材データの収集(経済産業省等行政当局発表資料・各種業界団体などの関連データ)ならびに分析を行い、会員向け隔月刊誌「印刷産業関連データ」、年報「マーケティング・データ・ブック」の発刊、および月次データをホームページに掲載している。また、3月にはシンポジウム『スマート・インバウンド・ソリューションへの挑戦と課題』を開催しタイムリーな情報発信を行った。資機材動向関連では、富士フイルム社の印刷版価格改定要請の動きに対応し、傘下団体へ周知を図った。

#### (1) シンポジウム『スマート・インバウンド・ソリューションへの挑戦と課題』の開催

- ・クールジャパン事業など日本のコンテンツ事業の海外展開の現状や、コンテンツ事業を支える印刷産業の最新の取り組みやグローバル展開の可能性
- ・地域連携キャンペーンの取り組み事例、外国人観光客向けの多様なサービスと仕組み
- ・2020年およびその後の展望も含めた日本のスマート・インバウンド・ソリューションについて  
日 時 : 平成28年3月2日(水) 13時半~16時半  
会 場 : 日本印刷会館2階 会議室  
講 師 : 小糸正樹様 クールジャパン機構(株) 海外需要開拓支援機構 専務執行役員  
中村好明様 (株) ジャパンインバウンドソリューションズ 代表取締役社長  
岡田典幸様 (株) JTB パブリッシング 総務部グローバル事業推進課課長  
藤沢 修様 凸版印刷(株) ICT 統括本部 ICT 戦略室室長

#### (2) 情報収集・提供活動・啓蒙活動・行政への協力・意見表明

- 1) 資機材市場における価格改定への対応  
5月に富士フイルム社のオフセット印刷用刷版材等の印刷関連材料製品の価格改定の動きを受け、傘下団体への周知徹底を図る。(平成27年9月1日より価格改定実施)
- 2) 行政官庁等への対応・協力  
WTO 環境物品対象品目調査、日中韓 FTA 交渉品目調査

#### (3) 動態調査実施の件

従業員100名以下の中小企業を対象にした動態調査を各会員団体および参加企業(約250社)の協力のもと実施。

	回収締切日	調査企業数	回収数	回収率%	前年回収率%	前々年回収率%
・1月~3月期	4月末日	253	52	20.6	24.3	26.5
・4月~6月期	7月末日	251	55	21.9	21.9	30.2
・7月~9月期	10月末日	250	60	24.0	20.7	23.1
・10月~12月期	1月末日	250	50	20.0	20.7	21.6

#### (4) 定期情報誌の発行

- ・「印刷産業関連データ」の発行：年6回（奇数月）発行。 ホームページデータは毎月更新
- ・「マーケティング・データ・ブック 2016」（年報）の発行

### [3] 知的財産部会

タイムリーなテーマの抽出や業界としての課題の調査研究に取組み、解決に向けた提案活動を進めている。知的財産権に関するトラブル・疑問や注意点に関する討議の成果を JFPI REPORT 誌等へ掲載し、印刷会社の日常業務に役立てている。また政府・行政省庁の知財関連意見募集へ積極的に対応し、印刷業界としての提言を行うほか、知的財産戦略調査会や TPP 等の知財関連動向を注視している。

#### <活動内容>

##### 1. 特許庁の動向

- ・特許法等の一部を改正する法律(2015/7/10)

##### 職務発明制度の見直し【特許法】

- (1)権利帰属の不安定性を解消するために、契約、勤務規則その他の定めにおいてあらかじめ使用者等に特許を受ける権利を取得させることを定めたときは、その特許を受ける権利は、その発生した時から使用者等に帰属するものとする。
- (2)従業者等は、特許を受ける権利等を取得等させた場合には、相当の金銭その他の経済上の利益を受ける権利を有するものとする。

##### 2. 文化庁の動向

- ・著作物等の利用円滑化のためのニーズの募集と包括的権利制限規定について(2015/7/7)

柔軟性の高い権利制限規定(いわゆる日本版フェアユース規定)や円滑なライセンス体制などのあり方を検討していくために、著作物等を円滑に利用するにあたっての課題を広く募集した。

##### 3. 著作権関連

- ・TPP関連交渉案件 著作権侵害、非親告罪を導入へ 適用制限めぐり最終調整～10月大筋合意  
非親告罪化は、映画や音楽などの著作権侵害を作者の告訴なしに警察や検察が捜査、起訴できるようにする仕組みであり、営利目的でない公正な利用などを適用対象外とするなど限定条件を調整し 10月大筋合意。

- ・著作物(映画を含む)、実演又はレコードの保護期間を以下の通りとする。

- (1)自然人の生存期間から計算の場合は、著作者の生存期間及び著作者の死から少なくとも70年

- (2)上記で計算されない場合には、次のいずれかの期間

- (i) 当該著作物、実演又はレコードの権利者の許諾から最初の公表年の終わりから少なくとも70年
- (ii) 一定期間内に権利者の許諾を得た公表が行われない場合には、当該著作物、実演又はレコードの創作年の終わりから少なくとも70年

- ・故意による商業的規模の著作物の違法複製等を非親告罪とする。ただし、市場における原著作物等の収益性に大きな影響を与えない場合はこの限りではない。

- ・著作権等の侵害について、法定損害賠償制度又は追加的損害賠償制度を設ける。

##### 4. 不正競争防止法関連

- ・改正不正競争防止法が成立 営業秘密漏洩の罰則強化(2015/7/3)

企業が持つ営業秘密の漏洩を防ぐための改正不正競争防止法が3日、参院本会議で可決、成立した。元社員らが関わる秘密の持ち出しや、新興国企業などによる産業スパイ事件の増加に対応し、刑事罰を重くした。

##### 5. 印刷物の入札仕様条件に係る経済産業省、地方自治体、出版社等の動向

パンフレット等納入成果物に係る著作権の取扱い～発注元(経済産業省等)へ譲渡し、発注元が多言語版制作へ転用することを前提とした契約。

##### 6. web版「印刷用語集」知財分野作成

##### 7. 大阪弁護士会(釜田佳孝弁護士)より照会の件(2015/11/6)

事件名『二次使用料等請求事件』(原告:東方出版(株) 被告:ニューカラー写真印刷(株) 外1名)  
出版社の了解を得ずに印刷データを再使用して別の出版社の書籍を印刷したことに関する照会

## 8. 文化庁パブリックコメント 意見表明の件(2016/02/02)

平成21年文化庁告示第26号の一部改正(案)の内容については、一度権利者検索を行って裁定を受けた著作物の再裁定においてその負荷を軽減するものであると考えられ、本改正案に賛同するとの意見を提出。

### 権利者不明等の場合の裁定制度における権利者検索のための「相当な努力」の見直し（平成21年文化庁告示第26号の一部改正）に関するパブリックコメント（意見公募手続）の実施について

平成28年1月5日  
文化庁長官官房著作権課

このたび、文部科学省では、著作物等の利用円滑化のため、権利者不明等の場合の裁定制度における権利者検索のための「相当な努力」の見直し（平成21年文化庁告示第26号の一部改正）を予定しています。

については、本件に関し、行政手続法第39条などにに基づき、平成21年文化庁告示第26号の一部改正案について、パブリックコメント（意見公募手続）を実施いたします。御意見等がございましたら、下記の要領にて御提出ください。

~~~~~  
件名：【「相当な努力」の見直しへの意見】

平成21年文化庁告示第26号の一部改正（案）の内容については、一度権利者検索を行って裁定を受けた著作物の再裁定においてその負荷を軽減するものであると考えられ、本改正案に賛同致します。

しかし、一度裁定を受けた著作物については、当該軽減策に加え、権利者検索のための「相当な努力」として定められるうち、「公衆に対し広く権利者情報の提供を求める」（以下「広告」）ことについても免除してよいものと考えます。一度、裁定が行われた場合にはその結果は公開されており、また本改正案によるデータベースにおいても容易に確認できるものと思われることから、権利者およびその関係者は最初に裁定が行われた時点で十分にその状況を知りうる状態であり、さらなる情報提供の募集を行う必要性は低いものと思われます。また、現実に権利者が名乗りでることが稀であるという事実からも一層その必要性には疑問があります。

過去の著作物を活用することは、より文化的に豊かな社会の実現に重要な役割を果たすものと考えます。そのためには、裁定に必要な労力やコストは必要最小限であるべきであり、一度裁定を受けた著作物についての裁定申請（申請者を異にする場合も含む）においては、必要性の低い広告の実施を免除し、補償金（担保金）の納付のみで当該著作物の利用を可能にすべきと考えます。

(注) 裁定制度の概要～他人の著作物、実演(歌手の仮称、演奏、俳優の演技など)、レコード(CD等)、放送又は有線放送を利用(出版、DVD販売、インターネット配信等)する場合には、原則として、「著作権者」や「著作隣接権者」の許諾を得ることが必要になります。しかし、許諾を得ようとしても、「権利者が誰だか分からない」、「権利者が誰か分かったとしても権利者がどこにいるのか分からない」、「亡くなった権利者の相続人が誰でどこにいるのか分からない」等の理由で許諾を得ることができない場合があります。このような場合に、権利者の許諾を得る代わりに文化庁長官の裁定を受け、通常の使用料額に相当する補償金を供託することにより、適法に利用することができるのが本制度です。(文化庁「裁定の手引き」(平成28年2月)より)

## 9. 「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」検討テーマ

- 第19回 Web 上に出ている書体を参考にして類似するロゴを作成する際の注意点
- 第20回 年史に写真を使用する場合の注意点
- 第21回 キャッチコピーを使用する際の注意点
- 第22回 ロゴマークを作成する場合の注意点

## [4] 技術部会

3つのWGを中心に活動した。

1. デジタルプレス推進協議会・・・アンケートによる動向調査と報告会の実施
2. 印刷技術標準化WG
  - 1) 技能五輪審査委員会・・・サンパウロ大会視察と次回アブダビ大会に向けた準備
  - 2) 印刷用語集（編集委員会、刊行委員会、改訂委員会）
    - ・・・web版印刷用語集作成と公開、用語などの追加・修正
3. 情報化プロジェクトWG・・・情報管理の見直し検討

### <活動内容>

#### 1. デジタルプレス推進協議会

- ・国内の印刷産業における生産機としてのデジタル印刷機の活用状況を把握し、活用度をさらに高めるための調査研究を目的にして、本年もアンケートをJAGATに規格調査を委託し、10/19～11/12に実施した。経年変化をみる「データの継続性」と「回答率のアップ」を狙い、昨年と多少設問を変更したが、従来同様大手からの回答が少なく、今後の課題とされた（発送558件、有効回答134件で回答率24%）。
- ・本アンケート調査に基づく報告会を「デジタル印刷の現状と展望」と題して、3月18日に実施（参加者183名）。メーカー6社からdrupa2016直前の情報の報告と、ユーザー4社からのデジタル印刷機の現状と展望についてパネルディスカッションを行った。

| 団体名                         | 発送件数 | 有効回答件数① | 回収率 | デジタル印刷機保有社数② | デジタル印刷機保有比率(②/①%) | デジタル印刷機保有台数 | デジタル印刷機月間5万ペー<br>ジ/A4以上出力件数③ | 同左比率(③/<br>②%) |
|-----------------------------|------|---------|-----|--------------|-------------------|-------------|------------------------------|----------------|
| 1 印刷工業会                     | 46件  | 14件     | 30% | 10社          | 71%               | 27台         | 3件                           | 30%            |
| 2 全日本印刷工業組合連合会              | 195件 | 44件     | 23% | 43社          | 98%               | 135台        | 13件                          | 30%            |
| 3 日本フォーラム印刷工業連合会            | 33件  | 15件     | 45% | 11社          | 73%               | 33台         | 3件                           | 27%            |
| 4 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会 | 48件  | 10件     | 21% | 10社          | 100%              | 25台         | 4件                           | 40%            |
| 5 (社)日本グラフィックサービス工業会        | 58件  | 12件     | 21% | 10社          | 83%               | 30台         | 5件                           | 50%            |
| 6 全日本シール印刷協同組合連合会           | 70件  | 14件     | 20% | 12社          | 86%               | 20台         | 2件                           | 17%            |
| 7 全国グラビア協同組合連合会             | 48件  | 15件     | 31% | 4社           | 27%               | 7台          | 3件                           | 75%            |
| 8 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会    | 60件  | 10件     | 17% | 7社           | 70%               | 25台         | 1件                           | 14%            |
| 計                           | 558件 | 134件    | 24% | 107社         | 80%               | 302台        | 34件                          | 32%            |

表 1-1：郵送アンケート回収企業とデジタル印刷機の保有状況など

#### 2. 印刷技術標準化WG

##### 1) 技能五輪審査委員会

###### ① 印刷不良サンプルの作成と評価

- ・国内選考会の筆記テストにおける「印刷異常発見能力評価」の内容については、前年度から検討していた。都立中央・城北職業能力開発センターにおいて、「印刷トラブルサンプル」を作成した。今回は、印刷トラブルを事前にデータで作成し、オフセット機での印刷を行ったが、問題とするには絵柄を自由に変えられる必要があり、今後はデジタル印刷機で作成することにした。
- ・技能五輪のテストツールという位置づけと、若手オペレータの育成ツールとして利用できる可能性もあり、実際に問題を作成し、都立中央・城北職業能力開発センターの学生に出題、問題のレベル

などを評価した (2/25)。

② 技能五輪サンパウロ国際大会 (8/11 開会式、8/12～15 競技実施、8/16 閉会式)

- ・ブラジル・サンパウロにて第 43 回技能五輪国際大会が開かれ、(株)トッパンコミュニケーションプロダクツの堀洸太氏が参加、成績は7位であった(金:ブラジル、銀:中国、銅:フランス)。
- ・今大会の印刷職種には、日本、ベルギー、ブラジル、中国、コロンビア、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、オーストリア、スイスの 11 カ国が競技に参加。オフセット印刷、デジタル印刷、調色、メンテナンス作業、断裁、シミュレーション、印刷不良の発見の7分野、14 課題が実施された。(ただし、印刷不良の発見は設問が適切でないと判断され、評価の対象にはならなかった)
- ・今回は、事前に競技内容が公開されることがなく前日になって実施内容が決定され、ルールが変更される(例えば、事前に実施競技として通知されていた「CTP」については、開会直前になって実施しないことが決定された)など、競技会場での混乱も見受けられた。

## 2) 印刷用語集

① 委員会：編集委員会・刊行委員会合同委員会 (4/23、5/25)

編集委員会・刊行委員会・改訂委員会合同委員会 (7/9)

② web 版印刷用語集

- ・印刷用語集は web 版の公開 (6/29) をした後、改訂委員会の了解を取りながら、印刷用語集としての充実をはかっている。経営・CSR カテゴリーを設け、印刷用語のほか、関係する知財分野、容器リサイクル分野、軟包装衛生分野などの用語の拡充を行った。
- ・アクセス数：1 万 6 千件以上/月、閲覧数：5 万ページ以上 (2016 年 1 月現在)
- ・利用者のアクセス状況を解析してその情報を公開するなど、公開画面での機能の追加等の更新を行う (12/21)。また用語の修正・追加も都度行い、利用者の拡大をはかっている。
- ・印刷用語集のバナー提供を行うことで、傘下の団体・協賛会社・関連会社のホームページ・業界紙などとリンク (統一バナーHP 採用協力約 70 社) も展開、印刷関連業界のソリューションとリンクしながら、印刷業界情報の DB 化により、活用のためのハブ機能を目指し、グランドデザインの具現化を図っている。
- ・3 月 14 日に「スマホ対応」の画面を提供した。

## 3. 情報化プロジェクトWG (準備委員会)

日本印刷産業連合会の情報管理の面から全体像を作成、具体的な対応について見直し・検討し、システム構築の準備を開始した。

### 3 企業行動委員会

#### 【1】概要

企業行動委員会では、4つの部会を編成し、それぞれのテーマに沿った活動を積極的に展開した。情報セキュリティ部会においては、「個人情報保護の最新情報の理解とサイバー攻撃脅威への備え」と題してセミナーを2回開催した。また、2016年1月のマイナンバー制度の開始に合わせ印刷事業者向けに「マイナンバー取扱ハンドブック」を製作・発行し、併せて解説セミナーを実施した。さらに、WGでは継続して「印刷事業者のための個人情報保護マネジメントシステム構築ツール」の製作に取り組んだ。

法令制度部会では、マイナンバー制度導入に向けた「社会保障・税番号制度（マイナンバー）」概要説明会、及び下請代金法等の厳格な遵守に向け「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」講習会を開催した。また、「平成28年度税制改正要望書」を10団体と連名で経済産業省企業行動課に提出した。

女性活躍推進部会は新規の部会であり、定例会議を3回開催。10団体における女性活躍推進への取り組み状況についての情報共有をはかった。その結果をもとに「印刷業界において女性活躍推進に取り組む風土を醸成する」ことを目的に、啓発セミナー開催を計画した。

労働安全衛生部会では、専門委員4名を含む6名から成るワーキンググループ（座長：寺田勝昭）を設置し、化学物質管理を重点に活動を行った。具体的には「オフセット印刷工場における化学物質管理」パンフレットを作成し配布、併せてセミナーを開催した。

| 委員会名(分科会)       | 開催回数   | 実施内容                                                                                                                                                            |
|-----------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業行動委員会         | 2回     | <ul style="list-style-type: none"> <li>*個人情報保護、情報セキュリティへの対応</li> <li>*税制・下請法・規制改革等への対応</li> <li>*女性の活躍推進に繋がる各種施策・情報への対応</li> <li>*安全衛生・リスクマネジメントへの対応</li> </ul> |
| ① 情報セキュリティ部会/WG | 2回/12回 | ・「マイナンバー取扱ハンドブック」の製作・発行                                                                                                                                         |
| ② 法令制度部会        | 1回     | ・「社会保障・税番号制度」概要説明会の開催                                                                                                                                           |
| ③ 女性活躍推進部会      | 3回     | ・女性活躍推進について10団体での情報共有                                                                                                                                           |
| ④ 労働安全衛生部会/WG   | 2回/7回  | ・化学物質管理の徹底～「VOC警報器」の開発                                                                                                                                          |

《本委員会開催日》

第1回 平成27年8月5日(水) 於：日本印刷産業連合会 会議室  
 第2回 平成28年2月25日(木) 於：日本印刷産業連合会 会議室

#### 【2】委員名簿

企業行動委員会（計15名）

（敬称略、◎は委員長、○は部会長）

| 連合会役職名 | 所属団体   |      | 氏名    | 会社名           |
|--------|--------|------|-------|---------------|
|        | 団体名    | 役職名  |       |               |
| ◎常任理事  | 印刷工業会  | 副会長  | 堆 誠一郎 | 宝印刷(株)        |
|        | 印刷工業会  | 監事   | 酒井 隆  | (株)リーブルテック    |
|        | 全印工連   | 常務理事 | 池田 幸寛 | 池田印刷(株)       |
|        | フォーム工連 | 常任理事 | 玉田 健治 | トッパン・フォームズ(株) |
| 理事     | ジャグラ   | 副会長  | 中村 耀  | NS印刷製本(株)     |

|              |          |      |        |                    |
|--------------|----------|------|--------|--------------------|
| 理事           | 全日本製本    | 専務理事 | 大熊 茂樹  | 大熊製本(株)            |
|              | G C J    | 専務理事 | 竹ノ上 蔵造 | (株)第一製版            |
|              | 全日本シール   | 副会長  | 田中 祐   | 山王テクノアーツ(株)        |
|              | 全国グラビア   | 理事   | 東 尚男   | (株)東シール            |
|              | 全日本スクリーン | 専務理事 | 飯島 英毅  | 全日本スクリーン・デジタル      |
|              | 全日本光沢    | 副会長  | 萱槇 雅浩  | 興亜産業(株)            |
| ○情報セキュリティ部会長 | 印刷工業会    |      | 成澤 晃一  | 凸版印刷(株)            |
| ○法令制度部会長     | 印刷工業会    |      | 関根 克彦  | (株)DNPアカウンティングサービス |
| ○女性活躍推進部会長   | 印刷工業会    |      | 新井 妙子  | 共同印刷(株)            |
| ○労働安全衛生部会長   | 印刷工業会    |      | 小瀬 透   | 大日本印刷(株)           |

### 【3】主な実施内容

#### (1) 情報セキュリティ部会

平成27年度は、立上げから12年間活動を継続した個人情報保護研究会の内容を引き継ぐとともに今後の活動範囲を拡大できる形で情報セキュリティ部会を発足させ、活動を推進した。7月29日開催の第1回情報セキュリティ部会において、(1)情報セキュリティをめぐる現状について、(2)部会活動の基本方針について、(3)部会構成及び年間活動サイクルについて、(4)平成27年度活動計画について等を、委員により共通認識として確認し、意見交換を行った。

平成27年度の具体的な実績としては、『個人情報保護の最新情報の理解とサイバー攻撃脅威への備え』と題して、個人情報保護セミナーを10月、3月に開催した。また、マイナンバー制度の導入に向け事業者のニーズもあり急遽、書籍「マイナンバー取扱ハンドブック(CD付き)」の出版を企画、11月に発行し、併せて同ハンドブックの解説セミナーを複数回開催した。平成26年度に着手した「印刷事業者のための個人情報保護マネジメントシステム構築ツール」は8月の完成を目指したが、規定内容に対する意見調整や弁護士及び大学教授に依頼した監修指摘への対応等により大幅に遅れた。さらに、情報セキュリティ部会としてスタートしたことを受けて計画した「情報セキュリティ部会として印刷産業における情報セキュリティの脅威に対する意識、被害状況および対策の実施状況等の調査」については、部会の実状に合った実施内容の検討を行った。

#### 1) 「個人情報保護研究セミナー」

##### ①「個人情報保護の最新情報の理解とサイバー攻撃脅威への備え」1回目セミナー(H27.10.13開催)

###### a. 『改正個人情報保護法及び番号利用法(マイナンバー法)の解説』

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 新保 史生氏

###### b. 『被害に遭わないために実施すべき対策は?』～守るべきものをしっかり守ろう～

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA) 技術本部 セキュリティセンター  
情報セキュリティ技術ラボラトリー 研究員 土屋 正氏

##### ②「個人情報保護の最新情報の理解とサイバー攻撃脅威への備え」2回目セミナー(H28.3.22開催)

###### a. 『改正個人情報保護法の詳解』

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 新保 史生氏

###### b. 『高度化するサイバー攻撃に備えて』

～予防・防御では間に合わない最近のセキュリティ事情とその対策～  
NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会 講師  
(株式会社ディアイティ セキュリティサービス事業部 部長) 山田 英史氏

## 2) 書籍「マイナンバー取扱ハンドブック（CD付き）」販売等実績及び活用セミナー開催実績

### ①販売実績

「マイナンバー取扱ハンドブック（CD付き）」（A4・116頁・左アジロ綴）を11月16日（月）に発行した。各団体のご協力により一ヵ月で初版2,000部をほぼ完売した。主に中小事業者向けの書籍で潜在的な需要は今後もあると思われるので、増刷分1,000部を継続して拡販していく。

#### a. 10団体への販売実績

| No. | 団体名                       | 販売実績（部） |
|-----|---------------------------|---------|
| 1   | 印刷工業会                     | 90      |
| 2   | 全日本印刷工業組合連合会              | 800     |
| 3   | 日本フォーム印刷工業連合会             | 120     |
| 4   | 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会     | 200     |
| 5   | 全日本製本工業組合連合会              | 50      |
| 6   | 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会 | 45      |
| 7   | 全日本シール印刷協同組合連合会           | 407     |
| 8   | 全国グラビア協同組合連合会             | 5       |
| 9   | 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会    | 0       |
| 10  | 全日本光沢化工紙協同組合連合会           | 20      |
|     | 小計                        | 1,737   |

#### b. セミナーでの販売実績

| No. | 開催地        | 販売実績 |
|-----|------------|------|
| 1   | 札幌（11/18）  | 21   |
| 2   | 仙台（12/1）   | 42   |
| 3   | 大阪（12/9）   | 47   |
| 4   | 名古屋（12/10） | 12   |
| 5   | 東京（12/14）  | 42   |
|     | 小計         | 164  |

#### c. 日印産連HP・FAX等申込での販売実績

|         |     |
|---------|-----|
| 3/31 現在 | 153 |
|---------|-----|

#### ※寄贈

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 各団体（見本誌）、企業行動委員会委員、経産省、国会図書館他 | 110 |
|-------------------------------|-----|

|    |       |
|----|-------|
| 合計 | 2,164 |
|----|-------|

### ②活用セミナーの実施状況

同ハンドブックの発行に併せ、ハンドブックを用いての事業者による特定個人情報の適切な取扱規程の策定方法を詳しく説明する「マイナンバー取扱ハンドブック」活用セミナーを各地で開催。

#### a. セミナー実施状況

| 開催地 | 日時                   | 参加者数（人） | 備考  |
|-----|----------------------|---------|-----|
| 札幌  | 11/18(水) 13:30～15:30 | 20      | 開催済 |

|       |                      |     |     |
|-------|----------------------|-----|-----|
| 仙台    | 12/1 (火) 13:30～15:30 | 42  | 開催済 |
| 東京    | 12/14(月) 13:30～15:30 | 87  | 開催済 |
| 名古屋   | 12/10(木) 13:30～15:30 | 19  | 開催済 |
| 大阪    | 12/9 (水) 15:00～17:00 | 47  | 開催済 |
| 参加者合計 |                      | 215 |     |

b. 札幌・仙台・大阪・名古屋・東京受講者アンケート結果

|   | 回答             | 割合 (%) |
|---|----------------|--------|
| 1 | とても役に立った       | 33     |
| 2 | 役に立った          | 58     |
| 3 | あまり役に立たない      | 1      |
| 4 | 既に知っていることが多かった | 5      |
| 5 | はじめて知ることが多かった  | 3      |

3) 「印刷事業者のための個人情報保護マネジメントシステム構築ツール」

①進捗状況

a. 「個人情報保護マネジメントシステム構築ツール」冊子作成（平成27年4月～8月）

- 1 「個人情報保護管理規程」
- 2 「個人情報保護安全対策管理基準」
- 3 「様式集」

b. 弁護士、大学教授の監修指摘（平成27年9月）

- 1 用語（関係者、略称等）、体裁（項番の有無）の不統一。
- 2 条により詳し過ぎる所、あっさりしている所があり、統一観がない。
- 3 「管理規程」の記載内容に規定とマニュアルが混在。
- 4 “緊急事態の準備”の記載内容の要再考。
- 5 中小規模の事業者向けとしては達成目標が高いため、実際に遵守できるかの判断が難しい。
- 6 “緊急事態の準備”は、コンティンジェンシープラン（緊急時対応計画）をわかりやすく説明する方が良いのでは。緊急でない問題や事故・違反への対処と緊急時対応を分ける。
- 7 “緊急事態の準備”では、対応措置を講じなければ被害の拡大が一層深刻になる事態を緊急事態として特定した方が良い。

c. 改訂作業（平成27年11月～）

- 1 監修結果の反映作業実施
- 2 特定個人情報の反映
  - ・必要事項の追加
  - ・「特定個人情報の適正取扱マニュアル」の参照

d. まとめスケジュール（平成28年2月～4月）

- 1 個人情報保護WG（2月24日（水））： 規程修正案の提示
- 2 個人情報保護WG（3月16日（水））： 様式修正案の提示
- 3 個人情報保護WG（4月15日（金））： 規程・様式への委員からのコメント確認

#### 4) 情報セキュリティ部会として印刷産業における情報セキュリティの脅威に対する意識調査と結果の共有

今期計画では、「情報セキュリティ部会としてのあるべき姿を探るため、情報セキュリティの脅威に対する意識、被害状況及び実施状況等を調査する。」としたが、情報セキュリティ部会として限られた資源の中で印刷事業者に資する活動を実施するための方向性を探るアンケートの実施を検討し、実施した。

<アンケート用紙>

平成 28 年●月●日

●●●●●● (団体名称)

事業者各位

●●●●●● (団体名称) 事務局

一般社団法人 日本印刷産業連合会  
情報セキュリティ部会 事務局

#### 「情報セキュリティ・個人情報保護に関するアンケート」のお願い

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

いつも日印産連及び会員団体に対してご協力・ご支援を賜り御礼申し上げます。

さて、日印産連 情報セキュリティ部会では、発足から 12 年間活動を継続した個人情報保護研究会の内容を引き継ぐとともに、今後の守備範囲を拡大する方向で活動しております。この事を受け、この度、印刷産業における情報セキュリティの脅威に対する意識とその対策の方向性を探るアンケートを実施することになりました。

つきましてはご多忙中に恐縮ですが、本アンケートに忌憚のないご意見・ご要望を含めて以下の個人情報のお取り扱いについて同意した上でご記入、ご提出をお願い致します。

#### 【個人情報のお取り扱いについて】

本アンケート結果は、今後の情報セキュリティ部会活動に生かすために利用します。受領した個人情報は、ご記入内容について確認の問合せを行う場合がありますが、それ以外には利用、第三者への提供は行いません。お名前をご記入いただけない場合は、アンケートの確認ができないためにご意見が反映されない場合があります。また、秘密を保持すること及び安全に管理することを確約致します。アンケートの配付及び回収は、所属する日印産連会員団体に委託して行います。

●月●日迄にお手数ですが所属団体宛に提出をお願いします。

また、本アンケートに関するご質問は下記までお願い致します。

敬具

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 7 階  
一般社団法人 日本印刷産業連合会

個人情報保護管理者： 企業行動委員会担当役員

問合せ窓口： 情報セキュリティ部会事務局  
上村、岩間

電話： 03-3553-6065 FAX： 03-3553-6091

E-mail ｱﾄﾞﾙｽﾞ： [info.pm@jfpi.or.jp](mailto:info.pm@jfpi.or.jp)

## 情報セキュリティ・個人情報保護に関するアンケート

私は、個人情報のお取り扱いに関して同意し、アンケートに記入します。

記入日：平成 年 月 日

|          |            |
|----------|------------|
| 貴社名・電話番号 |            |
| ご記入者     | 所属：<br>氏名： |

### 1. 情報セキュリティに関して

得意先から預かった情報が印刷会社から漏えいするような事態が発生しないよう印刷産業では創設以来、情報漏えい対策は必須の課題として取り組んでいます。

しかし、情報が原稿というモノからデジタルに移行した結果、従来の原稿の受け渡し管理では対応できない事象が生まれました。

個人情報に限らず、印刷会社として心得ておくべき情報セキュリティ対策があると思います。現状において抱えている疑問や解決方法について、課題をお知らせください。今後の活動に活かすよう検討します。

情報セキュリティに関する課題や安全管理措置等を記入して下さい。

(記入例：サイバー攻撃を防ぐために効果的な従業員の心得・やるべきことの事例を知りたい。SNSで得意先の原稿を納品前に投稿しないような効果的指導はどうしたらよいでしょうか?)

### 2. 個人情報保護に関して

#### ① 「※印刷現場における個人情報保護ワンポイントレッスン」の追加テーマ

書籍「印刷現場における個人情報保護ワンポイントレッスン」を発行し、約3年が経過しました。その間に社会情勢、顧客のニーズ、及び技術的安全管理措置等の変化が現れ、印刷現場ではそれらの変化に対し適切に対応することが求められています。

教材として盛り込んで欲しい事項や安全管理措置や安全管理標語等を記入して下さい。

(記入例：  
・いつのまにかウイルス感染？  
・あなたのスマートフォンは大丈夫ですか？  
・ヒヤリハットの経験を生かそう。  
・情報セキュリティに役立つ職場の5S)

② 「※印刷現場における個人情報保護Q&A」の追加テーマ

書籍「印刷現場における個人情報保護Q&A」を発行し既に5年を経過し、その後WebにてQ&Aを追加しました。その間に社会情勢、顧客のニーズ、及び技術的安全管理措置等の変化が現れ、印刷現場ではそれらの変化に対し適切に対応することが求められています。

疑問や解決策として盛り込んで欲しい事項を記入して下さい。

(記入例：・クレジットカード情報の取扱い      ・アンケートはがきの処分  
・無線LAN、Wi-Fi導入時の安全管理措置)

③ セミナー希望テーマ

これまでも、個人情報保護法の最新動向、個人情報保護内部監査員セミナー及び「※マイナンバー取扱ハンドブック」の解説セミナーを開催してまいりました。今後、受講したいテーマがあればご記入ください。

(情報セキュリティに関するテーマでも結構です。)

3. その他

情報セキュリティ部会及び個人情報保護WGに対して忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

(ご意見欄：)

※印：日印産連ホームページ 出版物のご案内「印刷産業と個人情報」シリーズを参照

<https://www.jfpi.or.jp/publication/list.html?category=b>

以上

## 5) その他の取り組み

### ①「個人情報保護に関する情報」の公開

「プライバシーマーク審査センターHP」において継続して、個人情報保護に関する諸情報、経済産業省及び（一財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）等からの発信情報及び今期は特にマイナンバー制度対応準備関連資料をタイムリーに掲載し、印刷事業者の個人情報保護に関する意識を喚起した。「プライバシーマーク審査センターHP」内にある「認定事業者サイト（寄木細工の箱）」は更新が滞った。設置意義等を含め活用方法を再検討する。

### ②「個人情報保護シリーズ」の販売実績

（平成28年3月末現在）

|            | 個人情報保護の手引き | 個人情報保護 Q&A | 個人情報保護 ワンポイントレッスン |
|------------|------------|------------|-------------------|
| 印刷部数       | 9,000 冊    | 3,000 冊    | 3,000 冊           |
| 平成27年度販売実績 | 39 冊       | 22 冊       | 53 冊              |
| 在庫数量       | 424 冊      | 133 冊      | 1,230 冊           |

### ③ 広報活動

日本印刷産業連合会機関誌「JFPI レポート」への出稿

2015年4月号・・・①表題：平成26年度 第3回「個人情報保護研究セミナー」

－個人情報を守る時代的要請から生まれる新たな課題－

2015年7月号・・・①表題：平成26年度 個人情報に関する事故報告

2015年10月号・・・①表題：「マイナンバー制度への対応について」

②表題：「個人情報保護法が改正されました（平成27年9月成立）」の件

2016年1月号・・・①表題：平成27年度 第1回「個人情報保護研究セミナー」

－個人情報保護の最新情報の理解とサイバー攻撃脅威への備え－

②表題：「プライバシーマーク認証事業者の番号利用法及び

特定個人情報ガイドラインの対応について（JIPDECからの公表）」

③表題：「マイナンバー取扱ハンドブック【CD付】」のご案内

## （2）法令制度部会

### 1) 「社会保障・税番号制度（マイナンバー）」概要説明会の開催

平成25年5月の「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の成立に伴い、平成27年10月から住民票を有する国民全員に個人番号（マイナンバー）が送付され、平成28年1月からその制度の運用が開始されることとなった。法令制度部会では、その制度の対応準備として、10団体の会員企業をはじめ、印刷関連団体会員、賛助会員を対象に平成27年5月18日に東京、6月11日に大阪にて内閣官房及び特定個人情報保護委員会から講師を招いて「マイナンバー制度」および「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン」の概要についての説明会を開催した。（東京開催150人参加、大阪開催120人参加）

### 2) 「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」講習会の開催

下請代金支払遅延等防止法（下請代金法）が、親事業者による下請事業者に対する優越的地位の濫用行為を取り締まるために制定され、平成22年6月に経済産業省によりそのガイドラインが策定され、その後、平成26年3月と平成27年3月の2回にわたり改訂された。法令制度部会では、10団体の会員企業を対象に、下請代金法等の厳格な遵守に向け、下請代金法等をより詳細に周知するための講習会を開催した。（8月26日東京開催115人参加、9月2日大阪開催25人参加、10月27日名古屋開催18人参加、平成28年2月26日仙台開催18人参加）

### 3) 「平成 28 年度税制改正要望書」の提出

平成 28 年度の税制改正要望事項について、10 団体経由で各会員企業に抽出を依頼し、平成 27 年 9 月 4 日に法令制度部会を開催し、その内容について議論した後平成 27 年 9 月 10 日に 10 団体と連名で経済産業省企業行動課に提出した。

平成 28 年度税制改正要望は、全体的には前年からの継続要望となったが、法人実効税率の更なる引き下げを要望しつつ、財源確保を課税ベースの拡大等による法人税の枠内で行うことのない、実質的な法人税改革の推進を要望した。法人税率の引き下げに伴う財源確保の一つとされる外形標準課税についても、中小企業への導入拡大は断固反対した。

### (3) 女性活躍推進部会

平成 27 年度、日印産連 女性活躍推進部会は女性活躍推進への取組みにおいて先行する印刷工業会及び全日本印刷工業組合連合会の 2 団体と情報共有を図りつつ、「女性の活躍推進」という国の方針に印刷産業全体としてどのように対応すべきかを模索・検討し、10 団体間での「女性の活躍推進」に関わる国及び会員団体の活動についての情報共有、啓発活動等を通して印刷産業全体の活性化を目指すことを目標に、活動を継続した。

平成 27 年度の具体的な活動実績としては、委員出席による定例会議を 3 回開催し、女性活躍推進法成立など女性活躍推進に関する国の動き、及び会員 10 団体の女性活躍推進に関する活動情報の共有化を推進した。また、印刷業界における「女性活躍推進の土壌づくり」のための施策を検討し、「日印産連 第一回 女性活躍推進セミナー」を企画・開催した。女性活躍推進をはじめとしたダイバーシティに関する行政の動きや各界の取組先進事例の情報を入手するため、(一社) ジャパンダイバーシティネットワーク (JDN) に加入し、部会の推進基盤を強化した。

#### 1) 定例会議の開催

- ① 第 1 回定例会議 (9/9)
  - a. グランドデザインについて
  - b. 女性活躍推進部会の方針及び活動計画
  - c. 各団体における女性活躍推進への取組み状況について (情報共有・意見交換)
  - d. (一社) ジャパンダイバーシティネットワーク (JDN) への加入について
- ② 第 2 回定例会議 (11/10)
  - a. 女性活躍推進法の概要と企業の対応について (経団連説明会を受けて)
  - b. 日印産連 女性活躍推進部会主催の啓発セミナーの開催内容の検討
  - c. 印刷工業会 女性活躍推進部会の進捗状況について
- ③ 第 3 回定例会議 (2/9)
  - a. 日印産連 女性活躍推進部会主催「(仮題) 女性活躍推進啓発セミナー」(第一回) 開催について
  - b. 女性活躍推進部会の 28 年度活動内容について
  - c. 2/17 開催の印刷工業会 女性活躍推進部会 3 分科会 最終報告会のご案内

#### 2) 「日印産連 第一回女性活躍推進セミナー」

<実施要領>

- ① 目的: 特に中小規模事業者の経営層に「女性活躍推進」への理解と意識改革を促す。  
(来場者に楽しく興味を持ってもらえる内容を中心に初心者向けのセミナーとして開催)
- ② 開催日時: 平成 28 年 4 月 26 日 (火) 14:00~15:30
- ③ 会場: 日本印刷会館 2 階大会議室 (定員: 120 名)
- ④ 内容: a. 挨拶 (5 分)・・・(一社) 日本印刷産業連合会 常任理事 企業行動委員会委員長 堆 誠一郎氏 (宝印刷 代表取締役社長)

- b. 「印刷業界における女性活躍推進の必要性・重要性」 (20分)
  - ・・・ (一社) 日本印刷産業連合会 副会長  
浅野 健氏 (金羊社 代表取締役社長)
- c. 「女もヒーローになる時代」～女性脳を活性化するコツ、男性脳を活性化するコツ (60分)
  - ・・・ (株) 感性リサーチ 代表取締役 黒川 伊保子氏

⑤ 会 費：無 料 (日印産連負担)

### 3) (一社) ジャパンダイバーシティネットワーク (JDN) への加入

#### ① 組織の概要

ダイバーシティ推進の第一歩として女性活躍推進に取り組む各種団体が連携して活動する民間主催のプラットフォームとして、2014年4月に設立された。様々な団体が連携してダイバーシティの発展を協議し、国内外に発信することで、日本国内のダイバーシティ推進活動を加速させ、社会の変革を促すことを目指している。

#### ② 活動目的

- a. 異なる分野の団体の連携により、日本のダイバーシティを推進し、社会の変革を促す。
- b. 分野を超えた、または各分野の共通課題に対して調査・研究・政策提言を行い、効果的に課題解決を図る。
- c. 官庁との緊密な関係構築により、事前の情報交換を進め、有効な政策提言を行う。

#### ③ 組織構成

- a. 理事会：活動の全体戦略・方針・方向性を決定。内永ゆか子氏が理事長
- b. アドバイザリーボード：JDNの活動の内容・方針に助言。(経団連、日商、同友会各会長、内閣府をはじめとする各省庁、海外のダイバーシティ推進団体などで構成)

#### ④ 部会委員へのJDNメールマガジン送信実績

Vol. 011(7/3) Vol. 012(7/16) 臨時号(8/3) Vol. 013(8/6) 臨時号(8/12) Vol. 014(9/30)  
 Vol. 015(10/19) Vol. 016(11/2) Vol. 017(11/19) 臨時号(11/30) Vol. 018(12/7) Vol. 019(12/21)  
 Vol. 020(1/12) 臨時号(1/18) Vol. 021(2/5) Vol. 022(2/22)  
 ※JDN9/2 シンポジウムに会員価格にて委員1名参加

### (4) 労働安全衛生部会

(部会開催：9/9, 2/12 計2回開催)

本年度は、労働安全衛生部会のもと専門委員4名を含む6名から成るワーキンググループ(座長：寺田勝昭)を設けて、化学物質管理を重点に活動を行った。

- ①平成27年度労働安全衛生部会 活動方針・関連活動の実施
- ②平成28年度労働安全衛生部会 活動方針(案)策定
- ③平成27年度 労働安全衛生ワーキンググループの活動  
(5/12, 7/8, 9/7, 10/7, 12/9, 1/20, 2/24 計7回開催)

#### 1) 「オフセット印刷工場における化学物質管理」パンフレットの作成・配布およびセミナー開催

昨年度の活動をまとめた「オフセット印刷工場における化学物質管理」パンフレットを作成し、会員10団体事務局を通じ10,000部を配布、化学物質管理のレベル向上を進めた。また、国際印刷総合機材展IGAS2015期間中に、同機材展会場にて化学物質管理に関するセミナーを、当連合会主催で1回、機材メーカーに講師を派遣して2回の計3回開催し、内容の徹底を図った。

#### 2) 化学物質管理の徹底 ― 「VOC警報器」の開発

あらかじめ決められたVOC気中濃度を超えると警報を発し、保護具の利用や、洗浄剤使用量の抑制、空気の換気、作業フローの見直しを促す「VOC警報器」を新コスモス電機と共同開発した。また

同警報器を、東京都印刷工業組合に所属するオフセット印刷工場 5 工場の協力を得て、約 2 年にわたるロングランフィールドテストを実施し、安定稼働を確認した。その後当警報器は、機能、性能等を厳正に審査した上で、GP 資機材として認定された。

### 3) 「VOC 警報器」の販売について

日印産連会員 10 団体で、販売に協力する団体を通じて先行販売を開始する。各団体とは販売契約の締結等を進めており、またこれに合わせて、紹介ビデオの制作、ユーザー説明会等を開催していく。

### 4) リスクアセスメント

労働安全衛生法の改正により（平成 28 年 6 月施行）、事業規模にかかわらず化学物質の製造・取扱いを行う全ての事業場を対象にリスクアセスメントが義務づけられた。これに対応するため、厚生労働省の「化学物質取扱業種におけるリスクアセスメント支援活動促進事業」（後述）に委員を派遣し、印刷業界に特化したリスクアセスメント事例の検討、支援ツールの作成を行っている。

### 5) その他の関連活動

#### ①厚生労働省 化学物質取扱業種におけるリスクアセスメント支援活動促進事業

厚生労働省が主催する標題事業に委員を派遣し、a. 具体的なリスクアセスメント事例の検討及び支援ツール作成、b. 製造・流通側での情報伝達のあり方の検討及び周知・広報資料の原案作成、c. 製造・流通業界向け講習会の開催を進めている。（事業委託先：(株)三菱化学テクノロジー）

印刷事業場の協力を得て工場視察を行い、1/15 に文唱堂印刷(株)、1/29 に大日本パッケージ(株)にて視察及び支援ツールの確認を実施した。また、製造・流通側での情報伝達のあり方の検討では、情報の受け手である立場の印刷業界として、確実な SDS 等の提供を求めた。

#### ②公益社団法人日本産業衛生学会 発がん物質分類 「オフセット印刷工程」を削除

同学会では、「オフセット印刷工程」を発がん物質の最上位にあたる I 群に評価していたが、昨年「検討中」に再評価し、平成 27 年 5 月に「使用された 1,2 ジクロロプロパン、ジクロロメタンによる可能性が高い」とし、同工程を発がん物質分類から削除した。同学会には、同発がん物質分類に対し、意見書の提出、印刷工場見学、同学会委員会での意見申入れを行い、「オフセット印刷工程」の削除を要請していた。

## 4 地球環境委員会

### 【1】概要

低炭素社会実行計画、循環型社会形成の2つの自主行動計画について、フォローアップ調査を図るとともに、VOC排出抑制についても平成27年度も会員企業にアンケート調査を通じて取り組み状況を把握し、自主行動計画の推進状況を平成27年9月に経産省に提出した。

GP認定制度を広く周知するため、GPマークを多く活用している印刷発注者（クライアント）を表彰する「GP環境大賞」を創設し、印刷文化典記念式典で表彰した。また開発した「VOC警報器」を新たに新規開発品目として、GP資機材として認定するなど、GP制度の充実を図った。

| 委員会名(分科会)         | 開催回数  | 実施内容                                                                                                                                                                   |
|-------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地球環境委員会           | 3回    | <ul style="list-style-type: none"> <li>*低炭素社会、循環型社、VOC排出抑制の自主行動計画</li> <li>*容り法への対応</li> <li>*「印刷サービス」グリーン基準への対応</li> <li>*GP認定制度への対応</li> <li>*環境関連展示会への出展</li> </ul> |
| ① 環境マネジメント部会      | 2回    | ・環境保全活動の充実                                                                                                                                                             |
| ・環境自主行動計画推進WG     | 6回    | ・地球温暖化、循環型社会、VOC排出の自主計画推進                                                                                                                                              |
| ・容り法対応WG          | 6回    | ・容り法対応実態調査および取りまとめと周知活動                                                                                                                                                |
| ・古紙リサイクル、脱墨分科会    | 1回/7回 | ・印刷物の脱墨評価の国際標準規格化                                                                                                                                                      |
| ② グリーンプリンティング推進部会 | 8回    | ・「オフセット印刷サービス」グリーン基準改定検討                                                                                                                                               |
| ・GP資機材検討WPJ       | 9回    | ・GP資機材認定基準の策定と拡充の検討                                                                                                                                                    |
| ・GP周知活動WG         | 9回    | ・GP認定制度の業界内外のマスコミを通じた周知                                                                                                                                                |
| ・GP効果数値化検討WG      | 6回    | ・GP認定工場の環境負荷低減効果の確認                                                                                                                                                    |

《本委員会開催日》

|     |                |                 |
|-----|----------------|-----------------|
| 第1回 | 平成27年 7月17日(金) | 於：日本印刷産業連合会 会議室 |
| 第2回 | 平成27年 12月4日(金) | 於：日本印刷産業連合会 会議室 |
| 第3回 | 平成28年 3月4日(金)  | 於：日本印刷産業連合会 会議室 |

### 【2】委員名簿

地球環境委員会 (計13名)

(敬称略：◎は委員長、○は部会長)

| 連合会役職 | 所属団体等  |      | 氏名    | 会社名       |
|-------|--------|------|-------|-----------|
|       | 団体名    | 団体役職 |       |           |
| ◎常任理事 | 全国グラビア | 会長   | 田口 薫  | 大日本パッケージ㈱ |
|       | 印刷工業会  | 理事   | 田島 久義 | ㈱久栄社      |
|       | 印刷工業会  |      | 木下 雅士 | 凸版印刷㈱     |
|       | 全印工連   | 常務理事 | 福田 浩志 | ㈱ウエマツ     |
|       | フォーム工連 | 理事   | 朝日 健之 | ㈱木万屋商会    |
|       | 全日本製本  | 理事   | 中村 健一 | ㈱NUCAMURA |

|              |          |       |       |            |
|--------------|----------|-------|-------|------------|
|              | G C J    | 監 事   | 永井 徹  | (株)ナガイアルテス |
|              | 全日本シール   | 副 会 長 | 田中 祐  | 山王テクノーツ(株) |
|              | 全国グラビア   | 副 会 長 | 安永 研二 | 東包印刷(株)    |
|              | 全日本スクリーン | 副 会 長 | 近藤 浩史 | (株)文化社     |
|              | 全日本光沢    | 副 会 長 | 鶴田 和也 | 宏和樹脂工業(株)  |
| ○環境マネジメント部会長 | 印刷工業会    |       | 千本 雅士 | 大日本印刷(株)   |
| ○G P推進部会部会長  | ジャグラ     | 理 事   | 菅野 潔  | (株)興栄社     |

### 【3】主な実施内容

#### (1) 環境マネジメント部会の活動 (7/15, 2/18 計2回開催)

本年度は、環境自主行動計画推進 WG、容り法対応 WG、古紙リサイクル・脱墨分科会を設置し、環境保全活動の充実を図った。

- ・平成27年度環境マネジメント部会 活動方針・関連活動の実施
- ・平成28年度環境マネジメント部会 事業計画(案)策定

#### ・環境自主行動計画推進ワーキンググループ

(6/22, 8/4, 9/4, 9/28, 11/5, 2/18 計6回開催)

#### 1) 低炭素社会実行計画

2010年度を基準年度とする、2020年度のCO<sub>2</sub>削減目標を掲げた「低炭素社会実行計画」は、本年度は当初の予定を上回る実績を上げ、基準年度比▲13%の削減となり2020年度の目標値をすでに達成した。これは、省エネのための設備更新による空調関係のエネルギー削減や、高効率モーター等動力関係の効果が大きく寄与している。

なお、電力排出係数は基準年度(2010年度)固定で計画、算定しているが、近年の原子力発電所の稼働停止により排出係数が大きくなっており、本年度(2014年度)の同係数で算定すると、CO<sub>2</sub>排出量は、基準年度比10.0%増、前年度比▲4.4%減となる。

また2030年を目標年度とする「低炭素社会実行計画フェーズ2」を昨年策定しており、基準年度2010年度比▲16.9%のCO<sub>2</sub>削減を目指している。

#### 2) 循環型社会形成自主行動計画

本計画は、「産業廃棄物最終処分量」と業界独自の目標として「再資源化率」を対象としている。産業廃棄物処分量については、2015年を目標年度とした年間0.7万トン以下を達成しており、本年度は、年間0.1万トンの実績となった。再資源化率については、目標を「2015年度を目標年度として、再資源化90%以上を維持する」としているが、印刷業界独自のグリーン基準の設定、その履行等を積極的に実施し、本年度実績は97.6%と目標を達成している。

#### 3) VOC排出抑制自主行動計画

VOC排出量抑制について1999年度を基準年とし、2010年度における排出量41%削減(68,100トン)を目標としていたが、VOC回収装置の普及等が進み、既に目標は達成した。その後2010

年度実績を基準年として、この水準を維持することを目標として活動しているが、本年度の VOC 排出量は 28,200 トン（削減率 76%）で目標達成した。

#### 4) 2016 年度以降の「環境自主行動計画—循環型社会形成編」策定

2020 年の産業廃棄物最終処分量の目標は、基準年度比 70%程度の削減を求められており、2005 年度基準年実績比 67%減となる 0.3 万トンと設定した。本年度実績で、既に同目標値を達成しているが、今後の維持目標として同目標値を確保していく。

#### ・ 容り法対応ワーキンググループ

(7/29,9/2,10/7,11/13,1/26,3/9 計 6 回開催)

##### 1) 紙製・プラスチック製容器の再商品化実施状況に関する調査報告

容器包装リサイクル法は、印刷産業にとって密接に関連する法律であり、同法に対する意向・要望の集約、紙製容器包装及びプラスチック製容器包装を中心とした正確な数量等の基礎データの充実を図るべく、アンケートを実施しとりまとめている。

本年度の再商品化義務量は、紙製容器 722 t、その他プラスチック製容器 23,675 tであった。また特定容器包装の製造量は、紙製容器 48 万 t、その他プラスチック製容器が 24 万 t と見込まれ、経年変化では微減傾向が見て取れる。

##### 2) 容り法関連単語の印刷用語集に掲載

容器包装リサイクル法関連用語 31 語を選定し、その意味、同義語、関連語、参考サイト等の説明と共に、日印産連印刷用語集に掲載した。

#### ・ 古紙リサイクル・脱墨分科会

ISO/TC130/WG11 国内委員会開催：4/24,6/2,8/27,9/16,10/26,11/27 計 6 回

脱墨分科会開催：4/7,4/15,5/26,8/4,8/12,10/15,12/18 計 7 回

ISO/TC130/WG11 における印刷物の脱墨評価方法の規格化を検討している。日本製紙連合会および各製紙各社も参画し、用紙リサイクル、脱墨の国際標準化について内容を詰めている。

#### (2) グリーンプリンティング推進部会の活動

(5/18,6/30,7/28,9/29,10/29,11/30,1/27,3/1 計 8 回開催)

本年度は、GP 資機材検討 WPJ、GP 周知活動 WG、GP 効果数値化検討 WG を設置して、グリーンプリンティング認定制度の具体的な活動を推進した。

#### ・ GP 資機材検討 WPJ

・ケミカル分科会開催：4/21,5/19,6/23,7/14,9/25,10/19,11/24,1/18,2/23 計 9 回

・ハード・ソフト分科会開催：4/21,5/19,6/23,7/14,9/25,11/24,1/28,2/23 計 8 回

##### 1) ケミカル分科会

ケミカル関連の新規認定品目の候補として、表面加工用ニス、減感インキ及び修正ペンの現状の調査を行った。その結果、使用量の多い表面加工用ニスとして水性ニス及びUVニスを候補とし、さらに市場動向、含有する化学物質等の調査を行った上で、オフセット印刷工

程・インラインの光沢コート、プレスコート、UVコートを中心に基準化に向けた検討を平成28年度に行うこととなった。

## 2) ハード・ソフト分科会

デジタル印刷機のメンテナンス用洗浄剤について、各メーカーの実態を調査し、デジタル印刷機の認定基準の一部を修正することとなった。また、新規認定品目候補として制作用デジタル印刷機の検討を行ったが、時期尚早との結論となり、湿し水循環装置等を候補として次年度検討することとなった。また、新規開発品目の認定基準及び認定方法の検討を行い、VOC警報器を新規開発品目として認定された。

### ・GP 周知活動 WG

・GP 周知活動 WG 開催：4/8,5/18,6/26,8/19,10/14,10/29,11/30,1/27,3/1 計9回

#### 1) GP 環境大賞の創設

GP マーク及び GP 認定制度を広く周知するため、GP マークを多く活用しているユーザーを表彰する GP 環境大賞を創設し、実行した。GP 環境大賞 5 社・団体、準大賞 10 社・団体を印刷文化典記念式典において表彰した。

#### 2) IGAS2015 及びエコプロダクツ 2015 への出展

IGAS2015 では、印刷製品に表示される GP マークをはじめとした 18 種類の環境ラベルの紹介展示と印刷発注者の意向調査結果の展示を行った。エコプロダクツ 2015 においても環境コミュニケーションの位置づけで GP マークと GP 環境大賞受賞企業の印刷製品を展示するとともに、地球規模での印刷産業界の環境への取組みを紹介した。また、両展示会とも「印刷製品の環境ラベル概説ブック」を無料配布した。

| 展 示 会        | 場 所      | 期 間         |
|--------------|----------|-------------|
| IGAS 2015    | 東京ビッグサイト | 9/11～9/16   |
| エコプロダクツ 2015 | 東京ビッグサイト | 12/10～12/12 |

### ・GP 効果数値化検討 WG

・GP 効果数値化 WG 開催：8/3,9/8,10/19,11/26,2/4,3/24 計6回

#### 1) 既存データによる分析

GP 工場認定申請書類、自主行動計画の各種調査結果から、電力、ガス、VOC、廃棄物等による環境負荷値を算出し、GP 工場と他工場の負荷低減効果の差について検討を行った。その結果、データがまだ不十分であるため、次年度にさらに実績データの収集の仕組みについて検討した上で、アンケート調査等によるデータ収集を行う予定。

#### 2) データの活用方法等の検討

データの活用法として、環境負荷低減結果の社会的アピールをはじめ、自社との比較、対策の取組み進展状況を明確にするベンチマーク、さらにベストパフォーマンス事例集の作成などの展開について検討を行った。

## ◆関連する部会の活動状況

### ○ 顕彰委員会関連

#### (1) 印刷産業環境優良工場表彰選考委員会

開催：7/27 計1回

本年度（H27年度第14回）は、多くの工場の参加を目的に、新たに小規模事業所振興部門を設置の上実施した。第1次応募は選択式、第2次は記述式の審査応募とした。応募数は65工場からの応募があった。この応募工場に対して審査・選考を実施後、理事会を経て経済産業省に表彰工場の申請を行い、H27年9月「印刷文化典記念式典」で表彰した。

#### (2) 印刷産業環境優良工場表彰審査委員会

開催：11/9,12/14,1/19,2/16 計4回

本年度（H28年度第15回）は、昨年度に続き小規模事業所振興部門を設置の上、日印産連会員10団体と協力して実施している。第1次応募は選択式で、計46工場の応募があり、内35工場が第1次審査を通過した。過去受賞工場は第1次審査免除となっており、これらを加えて第2次審査を実施していく。「9月印刷の月」での表彰を予定している。

#### (3) GP環境大賞選考委員会

開催：7/27 計1回

日印産連設立30周年を記念し、GP認定制度を活用しているクライアントへ感謝の意を表すべくGP環境大賞を実施した。GPマーク表示印刷製品を多く発注したクライアントを表彰することにより、GP認定制度の社会的認知度を高め、GPマークのさらなる普及、拡大を図り、GPマーク表示の環境配慮型印刷製品の普及による地球環境保全の推進をめざすものである。

##### 【GP環境大賞】（5社・団体）

㈱ジェイアール東日本企画 ㈱タカラトミー (一社) 日本自動車連盟、  
本田技研工業㈱ ㈱丸井グループ

##### 【GP環境大賞 準大賞】（10社・団体）

イズミヤ千里丘店イズミヤ会 岐阜県垂井町 埼玉県北本市 千葉県千葉市、  
東武鉄道㈱ (一社) 日本二輪車普及安全協会 (一財) 脳神経疾患研究所  
㈱ホンダ四輪販売 北・東北 レインボー薬品㈱ 稚内信用金庫

### ○ その他の関連活動・関連事業

#### (1) 東京都工場内VOC対策再検討プロジェクトチーム会合

東京都環境局化学物質対策課による「東京都VOC対策ガイド（工場内編）」（平成18年発行）の改訂作業に、印刷業界から委員二人を派遣した。前回ガイド発行から10年が経過したことから、GP認定制度活用による対策など、最新の動向を踏まえた内容を提案した。同ガイドの改訂版発行は平成28年3月の予定。

#### (2) グリーンプリンティング認定事業の活動状況・・・GP認定事業の章を参照

## 5 広報委員会

### 【1】概要

日印産連の主要行事として、設立30周年記念式典 2015年印刷文化典の記念式典・懇親会の実施、IGAS2015 国際印刷フォーラムの開催、国際交流活動としての WPCF、FAPGA への参加などを行った。また日印産連主催の4コンクール展の開催、機関誌「JFPI REPORT」の発行、日印産連ホームページの運営、などの事業活動を行った。

| 委員会名              | 開催回数 | 実施内容                                                                                                                                                                                 |
|-------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広報委員会             | 2回   | <ul style="list-style-type: none"> <li>* 2015年印刷の月 記念式典・懇親会の開催</li> <li>* 主催4コンクール展の開催</li> <li>* その他広報関連活動<br/>機関誌「JFPI REPORT」の発行<br/>産連ホームページの運営<br/>後援・協賛<br/>マスコミ懇談会</li> </ul> |
| ① 広報・企画部会         | 4回   |                                                                                                                                                                                      |
| ② 主催コンクール展企画実行委員会 | 2回   |                                                                                                                                                                                      |

#### 《本委員会開催日》

第1回 平成27年7月8日(水) 於:日本印刷産業連合会 801 会議室  
 第2回 平成28年3月2日(水) 於:日本印刷産業連合会 801 会議室

### 【2】委員名簿

広報委員会 (計12名)

(敬称略、◎は委員長 ○は部会長)

| 連合会役職     | 所属団体     |      | 氏名     | 会社名       |
|-----------|----------|------|--------|-----------|
|           | 団体名      | 団体役職 |        |           |
| ◎         | 印刷工業会    | 理事   | 岩岡 正哲  | 岩岡印刷工業(株) |
| 常務理事      | 印刷工業会    | 専務理事 | 小野 隆弘  | 印刷工業会     |
|           | 全印工連     | 常務理事 | 黒澤 文雄  | ライオン印刷(株) |
|           | フォーム工連   |      | 稲葉 義勝  | イセト一(株)   |
|           | ジャグラ     | 理事   | 早坂 淳   | (株)ケーヨー   |
|           | 全日本製本    | 副会長  | 田中 真文  | (株)田中紙工   |
|           | G C J    | 副会長  | 井上 亘   | (株)ショウエイ  |
|           | 全日本シール   | 理事   | 小宮山 光男 | MSP(株)    |
|           | 全国グラビア   | 副会長  | 竹下 晋司  | (株)ダイコー   |
|           | 全日本スクリーン | 副会長  | 嶋 信介   | 八欧産業(株)   |
|           | 全日本光沢    | 副会長  | 木村 亨   | 旭紙化工(株)   |
| ○広報・企画部会長 | 印刷工業会    |      | 佐々木 大輔 | 大日本印刷(株)  |

### 【3】主な実施内容

#### (1) 日印産連 30 周年記念 2015 年印刷文化典記念式典の開催

##### 1) 開催概要

日 時：平成 27 年 9 月 16 日（水） 午後 4 時～午後 7 時  
場 所：ホテルニューオータニ 本館「鶴の間」  
参 加 者：約 700 名

##### 第 1 部 記念式典

- ・日印刷連表彰（印刷文化賞・印刷功労賞・印刷振興賞・特別賞）
- ・第 14 回印刷産業環境優良工場表彰（経産大臣賞・局長賞・会長賞・特別賞・奨励賞）
- ・G P 環境大賞表彰（大賞・準大賞）

##### 第 2 部 懇親会

#### (2) IGAS2015 国際印刷フォーラムの開催

##### 1) 開催概要

日時：9 月 15 日（火）PM1:30-4:00  
場所：ビッグサイト会議棟  
参加者： 約 100 名

##### 講演内容：

第一部基調講演： Intergraf の前会長であり、かつノルウェーの大手印刷会社 07 Media 社の CEO である Havard Grjotheim 氏による欧州の印刷業界の動向の講演

##### 第二部パネルディスカッション：

Grjotheim 氏と以下の日本のパネリストによる日欧の印刷業界の比較

##### パネリスト：

|            |              |
|------------|--------------|
| 株式会社アドピア   | 代表取締役社長 白田真人 |
| 株式会社一九堂印刷所 | 取締役社長 岩尾純一   |
| 岩岡印刷工業株式会社 | 代表取締役社長 岩岡正哲 |
| 錦明印刷株式会社   | 代表取締役社長 塚田司郎 |
| 株式会社ローヤル企画 | 取締役会長 松浦豊    |

### (3) 主催4コンクール展の開催

#### 1) 開催概要

|       | 第67回<br>全国カレンダー展                                                                                    | 第57回<br>全国カタログ展                                                                         | 第55回<br>ジャパンパッケージング<br>コンペティション                                                                                              | 第49回<br>造本装幀コンクール                                                                            |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主催    | (一社)日本印刷産業連合会<br>フジサンケイビジネスアイ                                                                       | (一社)日本印刷産業連合会<br>フジサンケイビジネスアイ                                                           | (一社)日本印刷産業連合会                                                                                                                | (一社)日本書籍出版協会<br>(一社)日本印刷産業連合会                                                                |
| 後援    | 経済産業省<br>(独)国立印刷局<br>日本商工会議所<br>日本製紙連合会<br>(社)日本マーケティング協会<br>全国中小企業団体中央会<br>協賛：全国カレンダー出版<br>協同組合連合会 | 経済産業省<br>文部科学省<br>(独)国立印刷局<br>日本商工会議所<br>日本製紙連合会<br>(社)日本マーケティング協会<br>全国中小企業団体中央会       | 経済産業省<br>(公社)日本パッケージデザイン協会<br>(公社)日本包装技術協会<br>(公社)日本マーケティング協会<br>(一社)日本プロモーション・<br>マーケティング協会<br>日本百貨店協会<br>協賛：ジャパソムック株/平和紙業株 | 文部科学省<br>経済産業省<br>東京都<br>(公社)日本図書館協会<br>(公社)読書推進運動協議会<br>(一社)出版文化国際交流会<br>(一財)出版文化産業振興財<br>団 |
| 会期・開場 | 平成28年<br>1月13日(水)～17日(日)<br>東京：大崎ゲートシティ<br>アトリウム<br>1月20日(水)～28日(木)<br>大阪：平和紙業ペーパーボイス               | 平成28年<br>1月13日(水)～17日(日)<br>東京：大崎ゲートシティ<br>アトリウム<br>2月29日(月)～3月10日(木)<br>大阪：平和紙業ペーパーボイス | 平成28年<br>4月12日(火)～14日(木)<br>東京：日本印刷会館2階<br>4月18日(月)～22日(金)<br>大阪：平和紙業ペーパーボイス                                                 | 平成27年<br>7月1日(水)～4日(土)<br>東京ビッグサイト「東京国<br>際ブックフェア2015」会場                                     |
| 審査    | 平成27年12月9日(水)                                                                                       | 平成27年11月11日(水)                                                                          | 平成28年1月29日(金)                                                                                                                | 平成27年5月12日(火)                                                                                |
| 表彰式   | 平成28年1月13日(水)<br>大崎ゲートシティ                                                                           | 同左                                                                                      | 平成28年4月12日(水)<br>東京一ツ橋・如水会館                                                                                                  | 平成27年7月4日(土)<br>東京ビッグサイト                                                                     |
| 応募数   | 計625点                                                                                               | 計374点                                                                                   | 計166点                                                                                                                        | 計349点                                                                                        |

#### 2) 平成27年度主催コンクール/授賞作品数

|    | 授賞名 (順不同)      | カレンダー | カタログ | JPC | 造本装幀 |
|----|----------------|-------|------|-----|------|
| 1  | 経済産業大臣賞        | 3     | 2    | 2   | 1    |
| 2  | 文部科学大臣賞        | 3     | 2    |     | 1    |
| 3  | 経済産業省製造産業局長賞   |       |      | 2   |      |
| 4  | 経済産業省商務情報政策局長賞 | 4     | 2    | 3   |      |
| 5  | 東京都知事賞         |       |      |     | 1    |
| 6  | 国立印刷局理事長賞      | 3     | 2    |     |      |
| 7  | 日本商工会議所会頭賞     | 3     | 2    |     |      |
| 8  | 日本製紙連合会賞       | 3     | 2    |     |      |
| 9  | 日本マーケティング協会賞   | 3     | 2    | 1   |      |
| 10 | 全国中小企業団体中央会会長賞 | 3     | 2    |     |      |

|    |                      |            |            |            |            |
|----|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| 11 | 日本パッケージデザイン協会        |            |            | 1          |            |
| 12 | 日本包装技術協会賞            |            |            | 1          |            |
| 13 | 日本プロモーション・マーケティング協会賞 |            |            | 1          |            |
| 14 | 日本百貨店協会賞             |            |            | 1          |            |
| 15 | 日本図書館協会賞             |            |            |            | 1          |
| 16 | 出版文化国際交流賞            |            |            |            | 1          |
| 17 | 読書推進運動協議会賞           |            |            |            | 1          |
| 18 | 出版文化産業振興財団賞          |            |            |            | 1          |
| 19 | 審査員特別賞（審査員奨励賞）       | 8          | 4          |            | 3          |
| 20 | 日本書籍出版協会理事長賞（主催者）    |            |            |            | 6          |
| 21 | 日本印刷産業連合会会長賞（主催者）    | 3          | 3          | 5          | 6          |
| 22 | フジサンケイビジネスアイ賞（主催者）   | 3          | 3          |            |            |
| 23 | 部門賞                  | 26 (64)    | 10 (31)    | 21         |            |
| 24 | 奨励賞                  | (22)       | (16)       |            |            |
|    | <b>授賞作品数</b>         | <b>65</b>  | <b>39</b>  | <b>38</b>  | <b>22</b>  |
|    | <b>応募作品数</b>         | <b>625</b> | <b>379</b> | <b>166</b> | <b>349</b> |
|    |                      | 10.4%      | 10.3%      | 22.9%      | 6.3%       |
|    | 前年                   | 11.1%      | 10.6%      | 21.6%      | 6.7%       |

### 3) 応募数の推移（10年間の応募作品数掲載）

| 年         | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全国カレンダー展  | 843  | 847  | 814  | 725  | 718  | 756  | 770  | 714  | 658  | 625  |
| 全国カタログ展   | 449  | 353  | 358  | 335  | 415  | 469  | 423  | 388  | 379  | 374  |
| JPC       | 240  | 223  | 224  | 193  | 166  | 164  | 156  | 151  | 176  | 166  |
| 造本装幀コンクール | 442  | 363  | 383  | 344  | 384  | 309  | 315  | 366  | 334  | 349  |

## （4）国際交流活動

### 1) WPCF (World Print & Communication Forum) :

- ・ポルトガルのポルトにて2015年6月4日—6日に開催
- ・参加国：米国、欧州、ブラジル、中国、韓国、インド、日本
- ・次回の開催は韓国にて8月31日から9月3日まで開催されるK-Printと同時開催となる。
- ・主要な発表テーマでは
  - ポルトガルの印刷産業
  - 中国の印刷業界動向
  - ブラジルの印刷産業
  - ケーススタディー：Rotolito Lambarda
  - Smithers Pira global printing market forecasts2015-2020
  - Gutenberg networks 「Print vs Digital in marketing: tendencies」
  - ベルギーVrije 大学のE-Book Market Data

## 2) 第15回FAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts) 2015 マレーシア

- ・8月7日—9日クアラルンプール及びペナンで開催
- ・参加国は日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、フィリピン、マレーシア
- ・Print Ecology Forumを開催し、参加者は約3—400名程度。
- ・講演の内容はYouTubeで発信 <https://www.youtube.com/watch?v=nqGFGxXNrWM>

上記2件の出張報告会は2015年11月12日に日印産連にて開催した。

## (5) 印刷産業の情報発信

- ・印刷産業の情報発信を、業界外部にも積極的に行っていくことを目的に広報・企画部会の中で検討を行い、以下の3テーマを優先して取り組むこととした。
  - 印刷の月と地域イベントの連携
  - 社会貢献・地域貢献事例の発信
  - コンクール・コンテスト情報の発信

## (6) その他の広報関連活動

### 1) 機関誌「JFPI REPORT」の発行

機関誌「JFPI REPORT」を年度4回、各2,550部作成して配布。

- 第151号(平成27年4月号) 28頁 発行日:4月25日  
\*日印産連グランドデザインの概要
- 第152号(平成27年7月号) 40頁 発行日:7月10日  
\*第30回定時総会
- 第153号(平成26年10月号) 60頁 発行日:10月24日  
\*設立30周年記念式典 2015年印刷文化典
- 第154号(平成28年1月号) 48頁 発行日:1月30日  
\*2016年新年交歓会 グランドデザイン2年目、深化の年

### 2) ホームページの運営

ホームページでの情報発信の活性化の他に印刷用語Web版をリリースし、多くの団体、企業、マスコミとリンクを貼って、相互にとってのトラフィック増加を実現しWin-Winの関係を構築している。さらなるホームページの活用による情報発信を広報・企画部会で検討中。

### 3) 協賛事業

昨年同様、教育研究会(東京都立工芸高校学校 グラフィックアート科が中心)から協力の依頼を受け、「第7回学生グラフィックコンペ」に日印産連賞として図書券2万円を寄贈。

### 4) マスコミ懇談会/記者会見の開催

#### □マスコミ懇談会

- ①平成27年8月21日(金) 日本印刷産業連合会会議室
- ②平成27年12月18日(金) 日本印刷産業連合会会議室

## 6 顕彰委員会

### 【1】概要

本委員会は、「日印産連表彰選考委員会」「印刷産業環境優良工場選考委員会」を招集し、選考を委嘱する委員会であることから原案について各委員会で作成する。またメンバーがステアリング・コミッティ（運営委員会）と重複するため、同委員会において原案の検討を行う。

| 委員会名                    | 開催回数 | 実施内容                                |
|-------------------------|------|-------------------------------------|
| 顕彰委員会<br>(ステアリング・コミッティ) | 5回   | *日印産連表彰<br>*印刷産業環境優良工場表彰<br>*GP環境大賞 |
| ① 日印産連表彰選考委員会           | 1回   |                                     |
| ② 印刷産業環境優良工場表彰選考委員会     | 1回   |                                     |
| ③ 印刷産業環境優良工場表彰審査委員会     | 4回   |                                     |
| ④ GP環境大賞選考委員会           | 1回   |                                     |

### 【2】委員名簿

顕彰委員会(計10名)

(敬称略、◎は委員長)

| 連合会役職 | 所属団体     |     | 氏名    | 会社名           |
|-------|----------|-----|-------|---------------|
|       | 団体名      | 役職  |       |               |
| ◎副会長  | 印刷工業会    | 副会長 | 浅野 健  | (株)金羊社        |
| 副会長   | 全印工連     | 会長  | 島村 博之 | 六三印刷(株)       |
| 副会長   | フォーム工連   | 会長  | 櫻井 醜  | トッパン・フォームズ(株) |
| 常任理事  | ジャグラ     | 会長  | 吉岡 新  | 共立速記印刷(株)     |
| 常任理事  | 全日本製本    | 会長  | 大野 亮裕 | (有)協和製本       |
| 常任理事  | G C J    | 会長  | 田村 壽孝 | (株)東京ニュース     |
| 常任理事  | 全日本シール   | 会長  | 田中 浩一 | (株)田中シール印刷    |
| 常任理事  | 全国グラビア   | 会長  | 田口 薫  | 大日本パッケージ(株)   |
| 常任理事  | 全日本スクリーン | 会長  | 吉見 正彦 | マルワ工業(株)      |
| 常任理事  | 全日本光沢    | 会長  | 小原 隆  | (株)大和紙工業      |

### 【3】主な実施内容

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| (1) 日印産連表彰選考委員会       | 開催日：8/6                  |
| (2) 印刷産業環境優良工場表彰選考委員会 | 開催日：7/27                 |
| (3) 印刷産業環境優良工場表彰審査委員会 | 開催日：11/9 12/14 1/19 2/16 |
| (4) GP環境大賞選考委員会       | 開催日：7/27                 |

本年度は、○印刷文化賞における30周年特別枠の設定案（日印産連表彰選考委員会）  
○GP環境大賞の創設案（GP環境大賞選考委員会）  
の2件が原案どおりに承認された。